

2-91-34

国王尚温の、冊封の謝恩のため法司王舅毛国棟等を派遣する
むねの符文（嘉慶五《一八〇〇》、九、十二）

琉球国中山王尚（温）、天恩に恭謝する事の為にす。

切照するに、嘉慶五年、欽差の正使翰林院修撰趙・副使内閣中
書李の詔勅を恭捧して敝国に貴臨し、詔勅を宣読して王爵を授封
せらるるを蒙る。盛典已に行われ、例として官を遣わし、土儀を
具えて京に赴き謝恩する有り。

此れが為に特に正使法司王舅毛国棟・副使紫金大夫鄭得功・使
者向天禧・都通事鄭国鼎等を遣わし、表咨を齎捧し、官伴総共計
六十六員名を率領し、頭号船一隻に坐駕し、土儀の金鶴形一對―
鶴踏銀岩座各全・盔甲一領―護手護廉各全・金靶鞘腰刀二把・銀
靶鞘腰刀二把・黒漆靶鞘鍍金銅結束腰刀二十把・黒漆靶鞘鍍金銅
結束鎗一十把・黒漆靶鞘鍍金銅結束袞刀一十把・黒漆洒金馬鞍一
坐―轡銜絡頭前後牽韉屨脊障坭鏡俱全・金彩画匣屏二対・精製雅
扇五百把・土糸棉二百束・練蕉布三百疋・土苧布一百疋・白剛錫
五百觔・紅銅五百觔を装載するの外、御書を頒賜せらるるを蒙る
に縁り、特に金鶴形一對―鶴踏銀岩座各全を加えて前来せしめ、
京に赴きて天恩に恭謝せんとなす。
今拠るに、差去せる員役は、並えて文憑無ければ、誠に所在の
官軍の盤阻して便ならざるを恐る。理として合に符文を給発し、

以て通行に便ならしむべし。此れが為に、王府の礼字第一百六十
三号の半印勘合符文を給し、都通事鄭国鼎等に付し、収執して前
去せしむ。如し経過の関津及び沿海巡哨の官軍の験実に遇えば、
即便に放行し、留難して遅悞するを得ること母からしめよ。須ら
く符文に至るべき者なり。

計開

京に赴く

正使法司王舅一員 毛国棟 人伴二十五名

副使紫金大夫一員 鄭得功 人伴一十七名

使者一員 向天禧 人伴七名

都通事一員 鄭国鼎 人伴六名

王舅大夫随帶通事二員 魏崇仁 人伴五名
鄭朝選

右の符文は都通事鄭国鼎等に付し、此れを准けしむ

嘉慶五年（一八〇〇）九月十二日

注（1）差去 派遣する、つかわす。

（2）文憑 証拠となる文書。証明書。官吏の赴任命令証書、旅行証
明書などをいう。ここでは符文を指す。

（3）盤阻 盤詰（尋問）して阻害すること。

（4）符文 琉球国王が進貢使節に対して発給した証明書。通常の進
貢使のほか、冊封謝恩使・慶賀登極使・先帝への進香使・官生
など、北京へ赴く人員に対して交付された。

（5）礼字 交易船の確認のため船舶に付した字号で、勘合の用紙の
束の名称が「礼」であることを意味する。

(6) 半印勘合 琉球よりの使節であることを証明する割り印を押し
た証明書。

(7) 収執 受け取る。

(8) 関津 水陸の要所に設置された関所。税関。

(9) 巡哨 見回る。巡回する。巡邏する。

(10) 驗実 調べて事実かどうか確かめる。

(11) 放行 解放して通行させる。

(12) 留難 引き留めて難題をふっかける。

(13) 此れを准けしむ 「准此」は各種の下行文や、官庁の発行する身分証明書などの類のあて先の終わりに慣用的に記す語。この符文を可とする、の意（「用語解説」准此の項を参照）。

2-91-35

国王尚温の、進貢のため耳目官向必頭等を派遣するむねの符

文（嘉慶五《一八〇〇》）

琉球国中山王尚（温）、進貢の事の為にす。

照得するに、本爵、世々天朝の洪恩¹に沐す。会典に遵依して二年一貢なること、欽遵して案に在り。

茲に嘉慶五年の進貢の期に当たり、特に耳目官向必頭・正議大夫阮翼・都通事蔡邦錦等を遣わし、表章を齎捧し、梢役共に二百を過ぎざるの員名を率領し、海船二隻に坐駕し、常貢の煎熟硫黄一万二千六百觔・紅銅三千觔・煉熟白剛錫一千觔を装運し、両船

に分載す。一船は礼字第一百六十五号、煎熟硫黄六千三百觔・紅銅一千五百觔・煉熟白剛錫五百觔を装載し、一船は礼字第一百六十六号、煎熟硫黄六千三百觔・紅銅一千五百觔・煉熟白剛錫五百觔を装載し、前みて福建等処承宣布政使司に至りて投納し、起送して京に赴きて聖禮を叩祝せんとす。

所有の差去せる員役は、文憑無ければ、各処の官軍の阻留して便ならざるを恐る。此れが為に、理として合に符文を給発し、以て通行に便ならしむべし。今、王府の礼字第一百六十四号の半印勘合符文を給し、都通事蔡邦錦等に付し、収執して前去せしむ。

如し経過の関津及び沿海巡哨の官軍の驗実に遇えば、即便に放行し、留難して遅慢するを得ること母からしめよ。須らく符文に至るべき者なり。

計開

正使耳目官一員 向必頭 人伴一十二名

副使正議大夫一員 阮翼 人伴一十二名

朝京都通事一員 蔡邦錦 人伴七名

護送都通事一員 蔡清派² 人伴四名

在船都通事一員 林日新⁴ 人伴四名

在船使者四員 向文亨⁶ 人伴一十六名

存留通事一員 阿思明⁸ 人伴六名

在船通事一員 毛超群¹⁰ 人伴四名

管船火長・直庫四名 蔡肇業¹² 人伴四名

¹⁵ 陳承昌 ¹⁶ 昂長泰
¹⁷ 蔡執中 ¹⁸ 林賢兒